

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7
 (渋川福祉センター内)
 TEL 0561-51-2878

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

海の京都 日本三景 天橋立

宮城県の大島、安芸(広島県)の宮島と共に日本三景の一つに数えられる景勝地である。
 神秘的で美しい姿は野田川から流れ出る砂粒と外海から流れ来る砂粒とが別々に入り合って出来たと考えらる。



旅人の詠んだ瀧戸内海景勝地 朝の浦(大島景勝地) 舞台に「景観備保護が利便性」を争われた詩歌で、大島地蔵は住民側の新説を認め、果ては市が進める埋め立てを橋の計画にストップをかける判決とした。
 江戸期の風情を感ずる港や自然の織りなす景観が、この素晴らしい景勝地にも抽象的価値にこそ人の思いが宿るもの「景観」は歌や文に出るから、宮島観音堂の上の「ホニョ」の一歌



旅人の詠んだ瀧戸内海景勝地 朝の浦(大島景勝地) 舞台に「景観備保護が利便性」を争われた詩歌で、大島地蔵は住民側の新説を認め、果ては市が進める埋め立てを橋の計画にストップをかける判決とした。



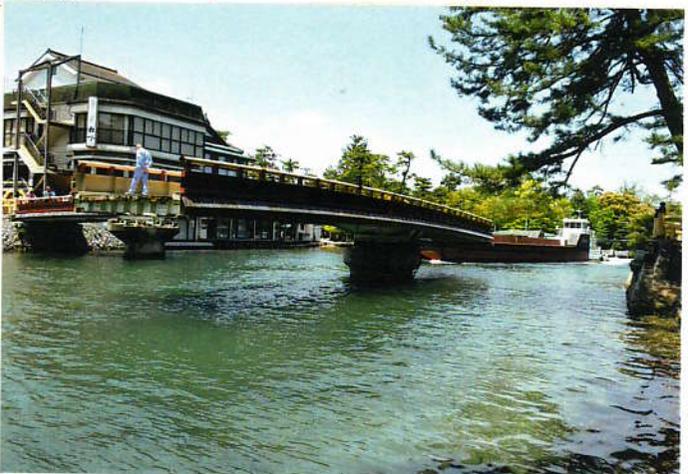
天橋立股のそとま

龍が天に無心上がる。日本三景天橋立は宮津湾と阿蘇海に横たわる約3.6kmにおよぶ砂粒が造り上げた神妙の造形です。
 砂粒には約8千本の黒松が注流りまわります。
 その風景を天橋立ビューランド展望台で股のせきとして見ると、龍が天に舞い上がる姿に見え、それとたどって「飛龍観」と呼ぶようになった。
 昔は海と空に解け合う早々の景色は訪れる人々を魅了してやまぬ。

文珠地区と天橋立を結ぶ橋で船が運河を渡る度に90度回る。
 回数が多いので初回の日で初回昭和35年に現在の橋が完成するまでは手動で回した。



天橋立のそとま



天橋立のそとま